とだ 議会だより

やさしいまちに、なりたい。

3月定例会

No155号
2008年(平成20年)5月15日

▲（左下から時計回りで、笹目川、喜沢、さくら川、道満、荒川土手、かじや緑地）

特集 議会や議員はどんなことをしているの？…20

平成20年度予算決まる、議案の審議経過 ……2
討論、議員提出議案 ……4
常任委員会審査の報告 ……6
総括質問 ……8
そこがききたい（一般質問） ……11
2月臨時会の議案内容と審議結果、議会役職の改選 …… 19
議会日誌、議員研修会報告 ……22
議会だよりアンケート ……23
6月定例会の予定、ほっとコーナー……24

戸田市
発行・戸田市議会
編集・議会だより編集委員会
〒335-8588　戸田市上戸田1丁目18番1号
URL・http://www.city.toda.saitama.jp/
TEL・048-441-1800（代）
FAX・048-433-2212

平成20年
3月定例会
2月25日～3月21日

平成20年度 予算決まる

一般会計 391 億 4000 万円
特別会計 234 億 6500 万円

添付へ…政務調査費交付条例の改正など 議員提出議案５件可決

3月定例会は、2月25日に開会し、新年度予算を初めとする市長提出議案等を慎重に審査し、すべて可決して、3月21日に閉会しました。

今定例会に市長から提出された議案は、総額391億4000万円の平成20年度一般会計予算と、234億円余の特別会計予算など、予算案件28件、条例12件、人事案件など5件の計45件で、そのほか、議員提出議案5件、請願4件を審議しました。

議案については、本会議で詳細説明を受けた後、3月5日に質疑を行い、総務委員会など4常任委員会で4日間にわたり、詳しく審査しました。

また、総括質問では、会派を代表し5名の議員が市長の施政方針に対して、大所高所の観点から質問を行いました。**↓総括質問概要8～10p参照**

3月6日から3日間にわたる一般質問では、14名の議員が活発な論戦を展開し、執行部の考え方をただしました。**↓一般質問概要11～18p参照**

その後、3月21日の本会議において討論・採決を行い、予算については、平成20年度一般会計予算など5件は多数決で、その他は全会一致で可決しました。**↓討論概要4・5p参照**

また、条例では、後期高齢者医療に関する条例、国民健康保険税条例の一部改正、保育所設置及び管理条例の一部改正は多数決で、その他9件の条例等は全会一致で可決しました。

議員提出議案では、「中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書」など3件の意見書と、政務調査費の交付に関する改正条例と、委員会条例の改正条例の2件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。**↓議員提出議案概要4p参照**

また、請願では、「ゆきとどいた教育を進めるための30人学級実現への請願」は、賛成少数で不採択と決定し、他の3件は継続審査となりました。

当初予算の概要

【一般会計予算】

予算総額は391億4000万円で、対前年度比2・8%の増となっています。**↓主な事業5p参照**

【特別会計予算】

「後期高齢者医療」と「在宅介護支援事業」の2特別会計が新設され、15特別会計の予算総額は234億6563万7000円で、対前年度比11%の減となっています。

なお、一般会計と特別会計の予算総額は626億563万7000円で、対前年度比2・8%の減となっています。

【水道事業会計】

水道事業会計の予算は次のとおりです。

- 収益的収入　25億1682万4000円
- 収益的支出　23億2584万3000円
- 資本的収入　966万2000円
- 資本的支出　12億6450万4000円

条例等の概要

◎公共施設等整備基金条例

経年劣化する公共施設及び庁舎の建設費に充てるための基金の設置です。

◎障害者施設条例

福祉作業所かがやきの新設（教職員住宅跡地）に伴う、新規条例制定です。

◎後期高齢者医療に関する条例

後期高齢者医療制度の開始（平成20年度）に伴い、市が行う事務について定める条例です。

◎国民健康保険税条例の一部改正

前期高齢者世帯での特別徴収と後期高齢者支援金等分の税率を定めるとともに、平成20年度以降に係る医療分の税率を一部見直す改正です。

◎保育所設置及び管理条例の一部改正

こだま保育園の廃止（平成21年3月31日）に伴う改正です。

◎市営住宅条例の一部改正

居住条件に「入居者及び同居者が暴力団員でないこと」を追加する改正です。

◎農業委員会の選挙による委員の定数条例等を廃止する条例

農業委員会の廃止（平成20年8月11日）に伴うものです。

【一般会計補正予算】

◎公共施設改修経費確保のため、10億円を基金積み立てするものです。

◎彩湖・道満グリーンパーク内の一部用地購入費の計上です。

【特別会計補正予算】

◎国民健康保険など10の特別会計補正予算です。

【人事案件】

◎副市長
山田一彦氏（新任）

◎教育委員会委員
仙波憲一氏（再任）

◎公平委員会委員
江口嘉一氏（新任）

◎監査委員
高浪正一氏（新任）

▲ 一般会計予算が賛成多数で可決された瞬間（左下は奥田議長）

領収書の原本

4月1日 オープンしました

▲ 福祉作業所かがやき

▼ 保育園（北戸田Ｊキッズステーション）

平成20年度 予算

一般会計 391億4000万円 前年度比 2.8%増

歳入（収入源）

- 市税 265億5695万1千円 67.9%
- 国庫支出金 40億1597万円 10.3%
- 県支出金 14億3695万7千円 3.7%
- 諸収入 19億737万1千円 4.9%
- 地方消費税交付金 12億円 3.1%
- その他 40億2275万1千円 10.1%

歳出（支出先）

- 民生費 130億76万円 33.2%
- 土木費 85億8062万3千円 21.9%
- 教育費 52億7806万8千円 13.5%
- 総務費 45億1742万2千円 11.5%
- 衛生費 31億1032万4千円 7.9%
- 公債費 19億8583万8千円 5.1%
- 消防費 15億9031万2千円 4.1%
- その他 10億7665万3千円 2.8%

※主な事業は5Pをご覧ください。

討論

議案審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べることを「討論」と言います。
今定例会の最終日には、議案5件について討論が行われ、その要旨は次のとおりです。

後期高齢者医療に関する条例

反対　日本共産党　本田　哲　議員

これまでの老人保健制度では、75歳以上の高齢者は、保険証の取り上げが禁止されていましたが、本制度は、保険料の支払いができなければ、保険証を取り上げられ、資格証明書が発行されます。お金のあるなしで、命を差別して扱う、とんでもない制度です。

高齢者の暮らしと命を脅かす制度実施の条例制定には賛成できません。

賛成　志政クラブ　浅井　隆夫　議員

本制度は、医療制度改革に伴い、20年度から全国一斉に実施される事業であり、県内の75歳以上の高齢者にかかる医療費をもとに、広域連合が県内統一の保険料率を設定し実施するものであります。

1市単独で独自の事業を実施するものではなく、条例制定は必要と判断し、賛成するものであります。

賛成　志政クラブ　浅井　隆夫　議員

高齢者医療制度の安定的運営を図るため、各医療保険者が一斉に実施するものであり、本市のみが実施しないことは許されません。

また、県内40市の税率と比較しても、所得割額・均等割額とも低い状況であるなど、被保険者への負担に配慮がされており、賛成するものです。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対　日本共産党　岡嵜　郁子　議員

本案は、国保加入者に後期高齢者支援金分を賦課するもので、一世帯当たり平均負担額は年1万円余の値上げとなり、県内では税額全体が増税とならないよう調整したり、税額を引き下げた市もあります。

せめて、これ以上の値上げはしないでほしいとの市民の願いにこたえ、税額全体を据え置くべきであることを求めて、本案に反対するものです。

保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例

反対　日本共産党　花井　伸子　議員

本案は、国の公立保育園運営費、建設補助費のカットにより「官から民」への流れへと保育の舵とりを変更し、こだま保育園を廃園するものです。

市は、官と民を比較するのではなく、役割を再認識して、本当にいい保育は何か、互いに切磋琢磨することが重要です。

市が長年つくりあげてきた公的保育が失われていくことのないよう、一層充実されることを求めて、本案に反対します。

平成19年度一般会計補正予算（第5号）

反対　日本共産党　望月　久晴　議員

市税や国保税の増税で生活が圧迫されている中、市税の伸びが福祉の向上に使われず、基金積み立ての大幅な増額に終わったことは残念であります。

施設整備基金の目的は否定しませんが、整備計画ができていない段階から、市民の貴重な税金を10億円も積み立てることは問題です。多額な資金を必要とするものならば、計画内容と資金計画を議会と市民に示し、その合意に基づいて基金に積み立てを行うべきであり、安易な財政運営には反対します。

平成20年度一般会計予算

反対　日本共産党　望月　久晴　議員

①歳入の繰越金は、繰越見込額の50％程度は当初予算に計上し、市民の暮らしや福祉の向上のための予算を組むべきです。

②総務費の北足立郡同和対策推進協議会の負担金は、同和に偏った人権政策は同和問題を固定化し、次代に引き継いでしまう恐れがあります。

③児童福祉費の民間保育所事業では、県の補助制度が2件縮小され、また、公立保育園を縮小し、保育事業の多くを民間に担わせようとしているが、市は子どもの保育に責任を持つ立場を自覚し、厳しい民間保育園の経営に追い打ちをかけるようなことはすべきではありません。

④公立保育園の給食調理業務委託については、経費削減を最大の目的とした民間委託化は見直すべきと考えます。

⑤教育費のＡＬＴ派遣事業は、定着率が悪く、雇用形態の再検討が望まれます。

⑥国保税の値上げや敬老祝金の削減で財政力を高めて、サステナブル都市の評価で高いランクを得ても意味がなく、財政力を市民の暮らし応援のために使うべきです。

議員提出議案5件を可決

今定例会では、5件の議員提出議案が提出され、説明の後、即決し、すべて原案どおり可決されました。

なお、3件の意見書は関係機関に送付しました。

①中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書

②「バイオマス推進基本法」（仮称）の制定を求める意見書

③正規雇用の推進と派遣労働者の処遇に関する意見書

④戸田市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

・報酬の不支給処分を受けた議員は、政務調査費の計算の基礎となる会派の所属議員数から除く規定を追加する。

・使途の透明化を目的に、収支報告書の提出の際の証拠書類を「領収書の写し」から「原本」に改める。

⑤戸田市議会委員会条例の一部を改正する条例

賛成　平成会　伊東　秀浩　議員

反対者の指摘について、賛成の立場で見解を述べます。

①繰越金を当初で過大に見積もることは、健全な財政運営上、避けるべきものです。

②人権政策事業は、研修に参加し、正しい知識の習得と理解を深める観点から、人権教育・啓発の一環として妥当なものと考えます。

③民間保育所事業の補助金削減は、国の三位一体改革後、県も同様に取り組み、見直しされたものです。民間保育所の経営は、国の保育所運営費の保育単価見直しの中で運営を実施するべきものです。

④給食調理業務委託は、既に6園で適正に実施されており、職員の定員適正化計画と併せて実施されていくものと考えます。

⑤民間委託のＡＬＴについては、途中退職や病気休暇等でも、迅速な後任の配置により、授業に支障を来すことがない。また、経験豊富で、質が高く、効果的な授業の展開、コスト削減を図ることができています。

⑥平成20年度は、生活面でも快適に過ごせる、バランスのとれたサステナブル都市第1位を目指すスタートラインとして取り組んでいただく配慮をお願いし、賛成するものです。

賛成　民主クラブ　高橋　秀樹　議員

①市税徴収の努力は評価するが、滞納繰越は市民税・国保税を合わせて40億円にも上っており、安易な不納欠損とせずに、滞納を誘発するような行政は絶対にあってはならないので、一層の努力をお願いします。

②戸田東小学校の単独校調理場の建設では、設計段階で5300万円のコスト低減を図っている。教育委員会にも経済性を考慮した経営感覚が若干芽生えてきたことを評価するものです。

③笹目小学校の単独校調理場の建設設計費については、職員活用や設計施行の手法を使うなど、予算執行に当たっては工夫が必要であることを指摘します。

④保育園の民設民営化は、建設費や人件費で市負担を大きく軽減できたものと評価します。

⑤工場の新設・増設、設備投資にかかる固定資産税相当額の補助については、工業振興策として評価でき、さらなる流出防止の政策を期待します。

⑥屋上緑化や発電システムなどの補助制度の継続は、評価すべき点です。

⑦競艇場の自転車置き場に予定している学校給食センター建て替えは、場所的に賛成しかねます。民間用地の借用や等価交換等も含め、再検討すべきと申し上げて、本案に賛成します。

平成20年度 一般会計予算の主な事業

	事　　項	予算額
子育て	民間保育所設置事業 ①戸田駅西　②北戸田駅前	245,265千円
	病児・病後児保育事業	29,710千円
	学童保育室建替・拡充事業 ①戸田東小　②美女木小	76,451千円
	母子家庭自立支援給付金事業	2,156千円
教育	学校給食施設整備事業	435,207千円
	南部地区中学校校長会学力検査事業	2,310千円
	放課後子ども教室事業	12,386千円
福祉	障害者自立支援事業	66,083千円
	後期高齢者医療事業	473,627千円
	健康福祉の杜整備事業	16,938千円
保健	がん検診等事業	98,282千円
	特定保健指導事業	2,802千円
	妊婦健康管理事業	65,614千円
環境	フラワーセンター運営事業	14,691千円
	戸田南小学校屋上緑化事業	3,644千円
	（仮称）４号公園整備事業	56,377千円

	事　　項	予算額
環境	後谷公園景観改良事業	49,523千円
	温暖化対策支援事業	12,860千円
都市基盤	歩道整備事業（市役所南側～戸一小付近）	123,001千円
	さくら川整備事業	126,398千円
	新曽中央地区都市整備事業業	48,095千円
安全・安心	耐震補強事業 （小中学校、新曽福祉センター）	666,184千円
	消防施設整備事業	128,827千円
	防災施設等整備事業	26,020千円
文化・スポーツ	市民大学事業	2,883千円
	総合型スポーツクラブ設置事業	1,000千円
	高校総体ボート競技事業	15,770千円
	文化・スポーツ施設整備事業	237,902千円
くらし・産業	コミュニティバス路線見直し調査事業	5,387千円
	消費生活対策事業	5,910千円
	産業立地推進事業	10,400千円
行政運営	政策研究所運営事業	2,825千円
	行政計画策定事業	29,218千円
	市議会議員選挙費	84,285千円

常任委員会　審査の報告

4つの常任委員会に付託された議案等の審査経過並びに結果は、3月21日の最終日の本会議において、各常任委員長からそれぞれ報告されました。下記はその概要です。

総務

※各常任委員会の所管部署
総合政策部、総務部、会計課、消防本部、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価委員会

施設整備には計画的な財源確保を

【戸田市公共施設等整備基金条例】

公共施設の整備計画や、積み立て限度額、積み立て期限などの資金計画について質疑があり、早急に整備計画の策定に努めていきたい。また、資金計画についても、具体化はしていないが、近い将来、公共施設が改修時期を迎えているので、財源確保に努めていきたいとの説明がありました。

▲改修時期を迎えている学校給食センター

【一般会計予算】

財産管理費では、委員から、建物の防水効果は10年から15年程度で改めて工事が必要となっているが、フェルトガーデンの利用により、防水効果が延びるのか。また、市内の公共施設全体に可能性を広げられないか、研究してほしいとの意見がありました。

非常備消防費では、不足している消防団員の確保について、委員から、現在の18歳から30歳までという資格要件の緩和や、女性団員の登用、早朝・深夜手当の追加などを検討してほしいとの意見がありました。

市債については、基金に約20億円もの積み立てを行うならば、起債しなくてもよいのではないかとの質疑があり、基金積み立ては、取り崩しが必要なときに備えて行っており、起債については、後世の公平な負担の観点から、公共施設の建てかえや耐震補強に対する事業など、必要最小限で行っているとの説明がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

コスト削減を図った公共施設の建設・改修に

【一般会計予算】

土木費・道路維持費の集水桝清掃や河川総務費の水路ユスリ蚊消毒業務では、清掃の時期・回数について質疑を交わし、市民からユスリ蚊の苦情がくる前も含めて、しっかりと清掃してほしいとの意見がありました。

緑化対策費の戸田ヶ原自然再生事業では、サクラソウ・トダスゲなどの再生を目標とし、市民・学校・環境NPOなどの多様な主体で取り組む予定であるとの説明があり、それに対して、関係機関との連携を密にし、国・県の補助金が活用できるよう大いに折衝してほしいとの意見がありました。

建築総務費の下笹目住宅建替事業や教育費・学校建設費のトイレ改修では、設計に市役所内部の有資格者を活用したり、設計施工で行うことで、コスト削減を図ってほしいとの意見がありました。

教育指導費の生徒指導支援事業では、「子どもの安全を守る日」推進委員会について、最近は色々な事件が起きているため、必要な学校の情報を推進委員会に提示し、どのように対処したらよいのかを投げかけることで、具体的に子供の安全を守る推進委員会となってほしいとの意見がありました。

図書館費では、12時から13時までを休憩時間としている図書館分室について、図書館司書の資格を有するボランティアを活用するなどして、休憩なしで開館することを希望する市民の要望に応えてほしいとの意見がありました。

◀きれいなトイレは気持ちがいいですね（新曽小トイレ）

※本年4月1日の市組織改正に伴い変更がありますが、ここでは審査時点の所管を記載しています。

健康福祉

福祉部
福祉事務所
医療保健センター

実態を把握し慎重な運営を…後期高齢者医療制度

【後期高齢者医療に関する条例】

保険料滞納者への対応である資格証明証について質疑があり、執行部からは、広域連合でも画一的な規定を適用して資格者証を発行するのではなく、相談対応し、各市町村の対応内容を見ながら適宜判断したいと回答を受けており、市でも、悪質なもの以外は相談から始まり、分納等が可能な方には即資格者証を発行しないようにするとの答弁がありました。

委員から、新たな制度が始まるときは慎重でなくてはいけない。担当はできる限り実態をつかむようにとの要望がありました。

【一般会計予算】

民生費の高齢者福祉費では、敬老祝金の削減分の利用内訳について質疑があり、広く元気老人のための事業として、東部福祉センターで実施されている「いこいの室ふれあい事業」を市内4カ所で実施するとの答弁がありました。

福祉企画費では、健康福祉の杜第2期整備事業で保健センターを移設することで、健康と福祉が一体となり、福祉をからめた総合的な相談が行え、市民が抱える問題の早期解決が図られるとの説明がありました。委員より、市費を投じて建設するのだから、ランニングコストも考え、市民要望の高いものをつくるよう要望がありました。また、上戸田ふれあい広場利用計画案に設置予定の施設については、来年度からの地元説明会で協議しながら慎重に計画していきたいとの答弁がありました。

▲老朽化が進む上戸田福祉センター（上）と上戸田ふれあい広場（下）

市民生活

市民生活部
水道部
農業委員会

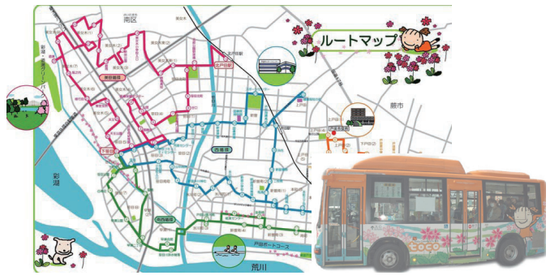
新たな〝ごみ〟減量化策は

【一般会計予算】

交通対策費のコミュニティバス路線見直し調査業務については、コミュニティバス全路線の停留所ごとの乗降客数を調査したり、利用者あるいは周辺地域に対するアンケート調査を行い、それをもとに路線の提案をしてもらう。連休明けの5月か6月ぐらいにかけて実施したいとの説明がありました。

蕨戸田衛生センター組合負担金に関連して、ごみの有料化に対する考え方について質疑があり、執行部からは、有料化する場合は蕨市と戸田市が統一してやっていく必要がある。当面の減量化対策として、本年4月1日から事業系のごみ袋を指定袋にするが、次の段階として、一般家庭のごみにも指定袋を導入して、それでもだめならば、その時点で有料化を検討する必要があるのではないかと考えているとの答弁がありました。

また、経費のかからない方法として、分別をふやして、資源化率を上げたらどうかとの意見が出され、執行部からは、現在、本市は17分類で実施しており、東京都などから比較すると、かなり多いが、さらにプラスチック類を分別して、プラス1ないし2ならばできるのではないかと考えているので、研究をしたいとの答弁がありました。



▲全路線の見直しが行われます

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。今定例会では、3月4日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをただしました。なお、施政方針の内容は、4月1日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

▲ボートコースの水面（みなも）に映（は）える桜

持続可能な都市を築くための取り組みは

平成会　秋元 良夫　議員

◀環境空間を利用した緑のスペース

議員　持続可能な都市を築き、次世代に優れた環境を継承するため、地球環境という大きな課題に対する取り組みを伺う。

市長　市民と協働で、ゴミ減量化・資源化、新エネルギー普及など、環境基本計画に基づき、地域の環境問題への取り組みを率先して行ってきた。地球全体の未来に向けた活動は地域から発信できるものが多く、市民一人一人の環境意識の高まりと行動が不可欠と考える。今後、市民、事業者、市の役割を明記し、温暖化対策に向けた地域推進計画を策定し、実効性のあるものとするために、地球温暖化対策条例の制定に取り組んでいきたい。

〝シティセールス〟の導入を

議員　自治体間競争の時代と言われ、市の内外に本市のイメージを確立・向上させるために、積極的にまちの魅力を売り込むことが必要とされているが、見解を伺う。

市長　本市に住むことがステイタスとなり、誇りに思うことができる、魅力あるまちにすることが重要であると認識しており、本市の強みを伸ばす手法の一つとして調査・検討したい。

将来に向けた健全な財政運営を

議員　自治体財政健全化法の成立を受けた公会計制度改革により、一層の財務状況の透明化が迫られている。健全な財政運営を進めるため、どのように取り組むのか。

市長　これまでの公会計にストック概念、コスト概念を取り入れ、一部事務組合や公社等を含めた行政資源全般を視野に入れた新地方公会計制度に対応する財務書類の作成と公表に向け進めたい。

安全で安心な生活を守るための対策は

志政クラブ　石井 民雄　議員

◀市民のみなさんによる防犯パトロール

議員　事件・事故・災害等の発生を予期することは困難である。自分たちの街は自分たちで守る観点から、自助・共助・公助をどう考えているか。

市長　防災訓練では地域の防災リーダーによる実技指導と、災害に強いまちづくりワークショップを実施し、市民の防災意識を高める取り組みを行っている。防犯では、市民主体の自主防災活動と、警察と行政の防犯対策により、19年度の犯罪件数が11年前の状況まで減少した。今後も地域のリーダー育成と安全ステーションを核として、防犯対策の充実に取り組みたい。

こどもにやさしいまちづくり

議員　本市は平均年齢が若く、子育て世代が多い。子育てには社会環境が大きく影響するので、学校、保育所、家庭、地域の連携をどう考えているか。

市長　県の「地域子育て応援タウン」の子育て支援ネットワークを活用し、学校・保育園等と情報共有を進め、広報紙やホームページで情報を発信したい。地域との連携は、地域の情報に基づき、それぞれの役割を活用し、子育て世代に必要なサービスの実施につなげたい。

医療の安定的な提供を図るために

議員　20年度から医療保健センターが分離される。市民に安定した医療環境を提供するために、役割分担を明確にし、市民に周知することが必要と考えるが。

市長　保健部門は、健康福祉の杜用地内に（仮称）保健福祉施設として整備を進め、医療部門については、その進捗状況を見ながら、現在地の建て替えを基本に整備計画を策定していきたい。

川風の道によるヒートアイランド対策を

公明党　中名生 隆　議員

◀荒川の涼風を市内に

議員　①航空写真では本市のヒートアイランド化がうかがえる。放置すると、環境に優しいまちづくりとはほど遠い環境になる。立地条件を生かし、荒川の川風を市内に導き、真夏の夜の涼風を送り、緑化対策とあわせたヒートアイランド対策の調査・研究が必要である。②国・県の地球温暖化防止優先事業費を活用して研究に取り組むべきだ。

市長　①国や県を初めとした多様な主体との連携で取り組んでいる「水と緑のネットワーク形成プロジェクト」では、水辺と緑地などの自然をつなぎ、都市の中に荒川などの涼しい風を導くことにより、涼しく快適な街になるよう期待している。②代替えエネルギー・省エネルギー施設設置事業、学校に対する省エネ施設設置事業、低公害車普及事業、廃棄物処理システムでのCO2削減事業の4分野がある。今後、国・県、関係団体の情報を得ながら、積極的に活用していきたい。

市ブランドとして「フェルトガーデン」の推進を

議員　①「フェルトガーデン戸田」の屋上緑化システムは、登録商標の認定を受けている。低コストで管理が楽であり、本市のブランドとして、各部課と横断的に協力して推進すべき事業である。②ビジネスチャンスとして市内業者が取り組めるよう、システムづくりを検討すべきでは。

市長　①本システムの普及により、緑化推進のほか、地球温暖化防止、ごみ減量、リサイクル等の波及効果も期待され、今後、市内公共施設にも屋上緑化を増やす計画である。②建設業協会等の関係事業者と技術面を含めた連携をとり、商工会やNPOとともに対外的にアピールしていきたい。

公共料金値上げ計画の中止を

日本共産党　花井 伸子　議員

◀後期高齢者医療制度の中止を求める県民集会

議員　国民生活の中に広がる貧困と格差、庶民増税、社会保障抑制の中で、高齢者、若年層、低所得者世帯は生活危機に追い込まれている。①国民健康保険税の引き上げ中止、②介護保険料の値下げ、③後期高齢者医療制度による負担増対策の検討、④下水道料金等、公共料金の値上げ計画の中止を。

市長　「最も身近な政府」としてセーフティーネットの役割を果たすため、生活困窮者等への支援は、制度に基づき適宜適切な対応をしている。①国保財政の健全で安定した運営を図るため、十分な審議の上で税率改正に至った。②20年度に激変緩和措置を継続すること、20年度が第3期の介護保険事業計画の最終年度であることから、現状のままとする。③全国一斉に実施される制度で、制度実施前から市町村単位で対策を検討すべきものではない。④経営改革プランに基づき専門機関による詳細調査をしている。その報告書及び県の負担金動向を見極めた上で、適切な判断をしていきたい。

ALTなど不安定雇用の是正を

議員　非正規労働者や派遣など、不安定雇用が大きな社会問題になっている。①小中学校のALTは、直接雇用に戻すか、住まいの支援など考えるべきである。②学童保育の指導員、保育士の雇用条件の改善、公立保育園の民営化中止の考えは。

市長　①民間委託によるALTの質の高さや制度への感謝の意見が多い。今後とも継続したい。②適正な勤務条件のもとで業務をしており、処遇面で近隣市に劣るものではない。こだま保育園は暫定保育園であり、20年度末で廃園とし、新たに民設民営の保育園が開園する計画である。

工業振興策で市税と雇用の確保を

民主クラブ　高橋 秀樹　議員

◀市庁舎入口の風力発電システム

議員　ここ数年で上場企業が移転し、将来にわたる貴重な税源と雇用の場を失い、大きな損失である。企業の定着化を重視した政策が必要である。

市長　市内経済の活力維持と安定した雇用の確保には、企業の集積と流出防止が重要な課題である。このため、工業系用途地域の産業立地の推進と既存企業の維持・発展を目的として、工場の新設、増築・賃借、設備の導入をする製造業、運輸業を対象に、固定資産税等相当額の2分の1を補助する新たな制度を導入する。

大レースの誘致で競艇配分金増額を

議員　競艇配分金の減額は、売上げ減と、SG競走などを誘致できないことが原因である。競艇事業を進める上での環境問題等の課題に取り組むとともに、21年度にはSG競走の誘致によって、配分金の確保に最大限の努力をしてもらいたい。

市長　SG競走等の誘致に向けて、引き続き競走運営の実績の確保に取り組み、運営成績の確保、安定配分が可能な組織を目指し、構成各市の協力を得ながら管理者として取り組んでいきたい。

温暖化対策として新たな補助制度を

議員　地球温暖化は、一人一人が問題意識をもって取り組む必要がある。屋上緑化、太陽光発電、高効率給湯器の補助制度の継続とともに、風力と太陽光を組み合わせた発電システムも利用価値があるので、補助対象に検討してはどうか。

市長　補助対象となるシステムの拡充を検討し、より多くの方が環境配慮施設の設置が可能となる制度づくりに取り組んでいきたい。

そこがききたい

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では3月6日から3日間、14人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要です。

▲春休みの一日（中町多目的広場にて）

一般質問の見出しのリニューアルについて

※153号から、質問見出しの次に「○○」として、答弁の見出しを掲載しています。

そこがききたい

市役所窓口サービスのさらなる充実を望む

山崎　雅俊　議員

「組織改正に伴い案内板を改善」

議員　市役所2階のレイアウトや案内板を改善すべきではないか。

市民生活部長　補助的なサインパネルで工夫して、来庁者のスムーズな誘導を図ることが大切である。平成20年度組織改正により、部局・室課名が大幅に変更になることから、案内板を優しく、わかりやすい文字に変更するなどの準備を進めている。今後も窓口部門と庁舎管理部門で協議しながら、改善をしていきたい。

▲2階の総合案内所を気軽にご利用下さい

JR駅に出張窓口の開設を

議員　JR3駅へ出張窓口を開設できないか。

市民生活部長　現在、戸田公園駅内や北戸田駅に近い民間店舗に自動交付機を設置し、さらに市内3郵便局で証明書の交付を開始し、窓口サービスを拡大してきている。しかしながら、JR駅の利便性は看過しがたいものがあるので、引き続き出張窓口の設置について関係機関と調整していく。

議員　窓口の休日開庁について、検討の進捗度はどうか。

総合政策部長　現在、本年秋ごろの実現を目指して検討している。

総合窓口の開設を要望

議員　市民サービス向上策として、総合窓口の設置ができないか。

市民生活部長　1ヵ所の窓口で、いろいろな手続きができる総合窓口は、繁忙期の待ち時間の問題や、待合ロビーなどに広いスペースが必要となること等の課題を解決していく必要がある。現在の庁舎環境や人的配置の中で、どのような総合窓口やワンストップサービスが有効か調査していく。

一般質問

馬場　栄一郎　議員

設計業者に対し入札参加成績評価の実施を

「設計業務の成績評定を検討する」

議員　建設工事の業者は、経営事項審査の総合評定値をもとに業者の格付けを行い、市の建設工事入札参加資格の有無を行っている。しかし、設計業務は、入札参加資格審査の成績評定を行っていない。公共建築は「市民の税金で建てられ、市民の財産である」という観点のもと、最も経済的で優れた設計を用いて、行われなければならない。設計業務が大変重要なことを鑑みれば、設計業者の成績評定を行い、設計業者の選定の参考にすべきである。今後、設計委託の成績評定を行う考えがあるか。

総務部長　現在は成績評定を行っていないが、適正な履行を確保するため、業務の履行過程や成果を評価し、成績評定も検討していく。

議員　建築設計は、発注者の意図を実現するため、設計者が創造や工夫を凝らすもので、成果物があらかじめ特定されていない。建築物の質や経済性は設計者の選定に大きく左右される。したがって、設計料金の入札以外の選定方法を積極的に導入すべきではないか。

総務部長　従来の価格競争のみではなく、技術提案を参考に、プロポーザル方式など様々な選定方法を検討していく。なお、平成20年度から建設工事の入札方法は、企業の技術力や価格等を総合的に評価する総合評価方式の試行を予定している。

議員　全国的に設計ミスが多発している。設計という成果物の品質を保つため、審査能力が問われる。設計技術職員の質の向上と人数確保が重要。行革プランの定数削減の対象とすべきではない。

▲建築過程では細心の検査が行われています

本田　哲　議員

労働基準法などを説明した冊子の作成を

「市のHPでの実施を検討する」

議員　平成18年12月議会で地域職業相談室を青年に広く知ってもらえるようフライヤー※の作成を要望した。その後、どのように取り組まれているか。

市民生活部長　現在、JR3駅、ファーストフード店、ダイニングバー、居酒屋など、若者が多く利用すると思われる市内50ヵ所に置いている。

議員　今後の取り組みは、どのように考えているか。

市民生活部長　さらにフライヤーを置いてもらえる店舗を開拓し、職業相談室が身近な相談室として利用してもらえるよう創意工夫していく。

▲戸田公園駅に置いてあるフライヤー

議員　今、青年や女性は働く人の2人に1人が非正規という状況。青年たちに働くことでの権利を知ってもらうよう労働基準法などを盛り込んだ、青年向け「労働ハンドブック」を作成し普及することはできないか。

市民生活部長　冊子ではなく、最新の情報を提供できるよう、市のホームページでの実施を検討していきたい。

後期高齢者医療制度…保険料の軽減措置を

議員　①保険料の負担増を抑えるための軽減措置を講じるべきではないか。②資格証明書の発行は、市独自で対応すべきではないか。③国・県に補助率の引き上げを引き続き要請すべきではないか。

福祉部長　①現段階では、埼玉県後期高齢者医療広域連合に準じた考えにより実施する。②高齢者の医療の確保に関する法律に準じた考えに基づき対応する。③県市長会を通じて対応する。

※フライヤー……A6版などの小さなビラ、チラシ。

そこがききたい

三浦　芳一　議員

「全国瞬時警報システム」の早期導入を

「平成21年度以降の導入を計画」

議員　小中学校の防災教育の現状を伺う。

教育部長　理科や社会、学級活動などの授業や防災訓練を通して学習している。教材は、戸田市ハザードマップ、阪神・淡路大震災記録映像、緊急地震速報リーフレットなどを活用している。

議員　実践的な防災訓練が大事だが、地域防災力強化の観点から、企業や団体などとの連携、協力関係をどう考えるか。

総務部長　災害時における企業・団体が保有する資機材及び人材は、重要な戦力と考えている。今後は、企業・団体の方々の防災訓練への参加や地域との連携がとれる訓練の実施を考えていく。

議員　国や地方自治体は、武力攻撃が予想される際に、住民に警報を出すことが定められた。情報を発信してから、秒単位で警報を出せるシステムが必要となる。これに災害情報も合わせて送信する体制を整えたのが「全国瞬時警報システム」である。本市として早期の導入の考えはどうか。

総務部長　本市の防災行政無線システムが現在アナログ対応のため、平成21年度以降にはデジタル化する予定で計画している。

▲建設が進む（仮称）ララガーデン

（仮称）ララガーデン周辺道路の安全対策

議員　来店者帰宅経路を川口方面へ要請できないか。

市民生活部長　基本的に通学路や学校の近くはルートから外すことや、大型車交通規制、押しボタン式信号機の設置など要望した。県の審議会の結果を見て、必要な対応をしていきたい。

議員　今後、住宅用警報器を普及させる中で心配しているのは、悪質な訪問販売である。市民に対しどのように注意を呼びかけているのか。

消防長　直接の説明機会のほか、パンフレットやチラシにも、悪質な訪問販売に対する注意事項を掲載し注意を促している。また、町会やマンション等の消防訓練時には、訓練講評と合わせて注意をお願いしている。

榎本　守明　議員

新曽中央地区の下水道整備を早期に

「一部区域を整備する」

議員　新曽中央地区の下水道整備計画は。

都市整備部長　平成20年度から「前谷馬場線」に下水道本管工事を予定。箇所は、中央通り二枚橋交差点から北へ約250メートル先の信号がある交差点まで。21年度は、市役所南通りの戸田駅西口交差点までを予定。「芦原上原線（旧全農通り）」は、20年度に中央通り氷川町交差点から北へ約250メートルの新曽福祉センター西交差点までの区間に本管と汚水ますを整備する。

▲区画整理地内で進む下水道工事

議員　観音寺北側道路（市道7068号線）の下水道整備はどうか。

都市整備部長　新曽中央地区まちづくり協議会を中心に、地域の皆様と合意形成を図りながら、整備のあり方をまとめ、事業化を図っていく。

議員　雨水整備の計画は、新曽第一及び第二土地区画整理区域は含むのか。

都市整備部長　雨水については、現在、新曽第一区画整理の中で※ボックスカルバートや道路側溝を敷設している。その整備終了後に下水道課へ移管し、雨水施設として管理していく。

悪質な住宅用火災警報器への販売対策は

※ボックスカルバート……コンクリート製の管で、主に水路、共同溝、地下道、橋梁、立坑等に採用されています。

一般質問

鈴木　麗子 議員

高齢者の食生活支援 共食の推進で孤食改善を

「食を通しての生活支援方法も検討」

議員　①「元気で長生き」を支える食事の充実と地域における楽しい交流は、自立を支えるための課題である。介護予防の観点からも、一人暮らしの方等に地域での共食の機会を提供し、孤食生活者の地域交流を図ってはどうか。②高齢者に向けたサービス事業の情報提供は、利用者に十分届いているのか。

▲ みんなで食べるとおいしいですね
（東京都北区のふれあい食事会）

福祉部長　①高齢者の健康維持のため、食のあり方は大切である。楽しみながら食べる共食の頻度が高いほど、食の内容や食行動の積極性も高いと言われる。今後の特定高齢者介護予防プログラム検討や地域との連携で、高齢者の生活を支える食の支援方法を検討する。②高齢者の福祉サービスガイドブックは3部つくり、担当課、社協等一部公共施設に置いている。また、居宅介護支援事業所職員が届ける場合もあるが、今後はすべての高齢者に配付する方法も検討したい。

修学旅行で防災学習を

議員　阪神・淡路大震災の記憶を語り継ぐため神戸に建設され、毎年多くの中学生が団体で訪れる「人と防災未来センター」を修学旅行訪問先の選択肢の一つに加え、防災への知識と減災の学習の機会としてはどうか。

教育部長　修学旅行の実施主体は学校であるが、選択肢の一つとして学校側に情報提供をするとともに、この施設の活用についても調査研究をしていきたい。

乗降スペースの改修を

議員　「ふれあいランド戸田」利用者が雨に濡れずに送迎バスに乗降できるよう、車寄せスペースの改善をしてもらいたい。

福祉部長　21年度以降の予算で対応したい。

手塚　静枝 議員

女性の再チャレンジ支援 きめ細かいサポートで

「各課と連携を図りながら支援する」

議員　結婚、出産、子育てなどで仕事をやめ、その後、さまざまな理由から再就職を希望する女性のための再チャレンジ支援がようやく国や県レベルで実施されるようになった。本市でも仕事と家庭、子育てなどを両立させたいと願う女性の再就職を、よりきめ細やかにサポートできるように、専任アドバイザーによるワンストップ総合相談窓口を開設し支援してはどうか。

▲ 女性の再チャレンジを支援する
大宮マザーズサロン

総務部長　市では、男女共同参画センター「ビリーブ」において、県との共催で「再就職支援セミナー」の開催や、必要な技能の習得に医療事務講座を開催するなどの支援をしている。就職・再就職に関する情報提供にミニハローワーク戸田、大宮のマザーズサロンを紹介するなどの支援をしている。また、今年度実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果をもとに、第4次男女共同参画計画へつなげていきたいと考えている。今後も、女性の再就職をサポートできる体制を関係各課と連携を図りながら支援していく。

大型自動車の進入規制を

議員　笹目中学校南側の市道5005号線及び4012号線は、幅員も狭く、大きな貨物トラックなどが頻繁に往来し、住民にとっては危険な道路である。笹目中西信号交差点を右左折する大型自動車の進入禁止の規制をかけることはできないか。

市民生活部長　最大5トン以上の貨物車は、事実上、通行困難であることや、仮に規制をしたとしても、周辺の生活道路への進入が増え、かえって危険が予想されるので、難しい。

召田　厚 議員

経営改革プランによる補助金の見直しとは

「誰もが納得のいく見直しを行う」

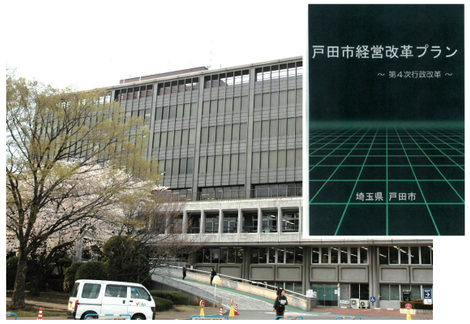
議員　補助金は、協働により事業を始めるための支援や、既存団体への自立支援であり、長年にわたり前例踏襲で支援をしている団体の見直し、客観的に見て適正な効果があらわれているかどうかの精査を行っているか。

①補助金、助成金などを、市予算から拠出している団体数は。

②補助金等を拠出している団体と額は、誰が、どのように決定するのか。

③毎年、その決算時期に、補助金の使われ方などの活動内容を把握し、まだ補助金が必要かどうかを精査し、補助・助成・交付をしているが、各部局担当者が把握して行っているのか。また、見直しとその基準、根拠は。

④市経営改革プランに沿った方針で、補助金等に関して、対象団体へは、見直しや廃止をするとうたわれているが、どのような方針で臨むのか。



▲ 行政経営の視点で改革が進んでいます

総合政策部長　①団体へ交付する事業は、136事業あり、部局別内訳は、議会事務局2、総合政策部2、総務部21、市民生活部21、福祉部16、都市整備部6、医療保健センタ18、消防本部7、教育委員会52、選挙管理委員会1となっている。

②補助金の根拠規定に基づき、各部局で精査し、交付している。新規補助金のうち、政策枠に関しては、市補助金等調査検討委員会で審議している。

③年度ごとの見直しについては、予算編成説明会において重点見直し項目を示し、各部局で活動内容を把握した上で実施している。

④対象団体に対し、理由なく一律10％削減ということはしない。内容を精査し、対象団体、市民の誰もが客観的に見て納得のいくよう事前に説明し、見直していく。

花井　伸子 議員

子ども医療費助成の年齢拡大を

「方法も含めて試算を検討する」

議員　就学後の子ども医療費助成の年齢を拡大する自治体が増えている。さいたま市、蕨市でも年齢拡大を発表した。本市でも年齢拡大の試算を行ってはどうか。

福祉部長　年齢拡大は現段階においては難しい。試算については、今後、乳幼児医療費助成制度をどのように進めていくべきか検討する上でも必要なこと。方法も含めて検討する。

学校給食の安全性は

議員　中国産の冷凍餃子事件などが発生し、学校給食の安全性が心配されている。物資選定の今後の対策として、単独校にも保護者参加の物資選定委員会を設置し、給食センターと相互の情報交換の場を設けるべきではないか。

◀ 安全対策が求められる
メゾンエメラルド前交差点

教育部長　来年度から学校給食課ができ、給食センターと単独校と所管が統合される。今後さらに食の安全性を保ち、適切な食材選定が進めていけるよう、物資の選定方法について検討していく。

新曽地区の交通安全対策を

議員　新曽地区の交通事故件数は、他地区の4倍の件数になっている。特に事故が多発しているメゾンエメラルド前交差点の対策強化を。

都市整備部長　舗装の打ち替え後に、一時停止側に薄層舗装を施し、その上に狭窄感を出す路面表示を来年度優先して行う。また、蕨警察としても、一灯式信号機灯具の大型化について、県警と協議していくとのことである。

一般質問

望月　久晴　議員

都市型水害対策に学校・公園に雨水貯留施設を

「効果は認識しており、検討したい」

議員　①平成17年9月の集中豪雨の状況と、浸水実態調査の結果と対策は。②学校や公園の地下に雨水を一時貯留する施設の建設が必要では。

都市整備部長　①下戸田と新曽ポンプ場の排水地域で24万トンの雨が降り、9万トンが排水され、15万トンがあふれた。実態調査により、浸水地区及び被害状況を具体的に把握でき、今後の浸水対策計画を作成する貴重なデータが得られた。

②大きな効果があると認識しているので、今後検討したい。

グリーンカーテンで二酸化炭素削減を

議員　公共施設、学校の窓辺につる性植物のグリーンカーテンをつくって、二酸化炭素の排出削減ができないか。

市民生活部長　板橋区の小学校では室温が5度以上下がる効果があった。本市でも有効な環境対策の一つとして、公共施設や民間に推進したい。

議員　京都市では廃食油で220台のごみ収集車の燃料をまかなっている。本市でも給食の廃油をディーゼル車の燃料に利用できないか。

▲台風による荒川の増水

教育部長　給食センターは、19年度は2月までに9738リットルを回収業者に買い取ってもらっている。飼料用やペンキ・インクとして再利用しているので、燃料用としての対応は現状では考えていない。

コミュニティバスの逆回り運行を

議員　コミュニティバスの利便性を高める調査はどのような内容か。また、逆回り運行はできないか。

市民生活部長　17年度をピークに利用者が減少し、逆回りや路線延長、分割などの要望がある。利用状況の把握やニーズ調査を行い路線の検討を実施する。逆回り運行は費用対効果などを考慮すると、現状では難しい。

岡嵜　郁子　議員

利用者の立場に立った介護保険の運営に

「適切なケアマネジメントにより努力する」

議員　平成18年度の介護保険改正の目的は「介護費用の削減」であり、軽度の人のサービス締め出し（訪問介護や福祉用具利用の抑制）、介護報酬削減、施設利用者の負担増が行われた。本市の状況はどうか。サービスを一律に制限していないか。

福祉部長　一律の制限はしていない。

議員　不足しているサービスの対策を。①早朝・夜間、休日の訪問介護、②通院の病院内での付き添いや移動支援、③軽度者が通いやすいデイサービス。

福祉部長　①ケアマネージャー、事業所と協力してサービス提供に努める。

②介護保険では、院内は基本的に病院スタッフが対応すべきだが、現状は難しい。適切なケアマネジメントのもとに移動等の介助を行っている。

③ニーズに応じた利用ができるよう努める。

▲適度な運動が長寿の秘けつ（ふれあいランド戸田）

議員　院内介助は、長時間の付き添いに介護報酬が全額出ないため、事業所が断るケースもあるようだ。渋谷区では、独自の生活援助制度で院内介助を行っている。本市も研究を。

福祉部長　一時的対策では解決にならないが、ご苦労されている方々もおり、良い方法があれば検討し、やれることはやっていきたい。

公聴制度の充実を

議員　市長への手紙のインターネット公開を。

総合政策部長　公表している自治体の例を研究し、検討したい。

そこがききたい

浅井　隆夫　議員

戸田ボートコース・荒川水辺の有効利用を

「利用できるよう関係機関に要望する」

議員　戸田には貴重な資源である水辺の環境が大きく2つあり、埼玉県が進めている「緑と川の再生」の一つとして、この資源を利用し、市民の憩いの場として活用できないか伺う。

①戸田ボートコースは、最近「釣り禁止」の看板が出ている。原因は一部の釣り人のマナーが悪く、トラブルがあったためと聞いている。しかし、ボートコース内にはブラックバスやブルーギルなどの駆除をしなくてはならない外来魚とともに、大量のワカサギの生息が確認されている。よって、一定のルールやマナーのもと、再び釣りを解禁にできないか伺う。

▲ボートコースには多くの魚が生息しています

②最近、荒川は水質も良くなり、ハゼなどの魚がよく釣れるようになっている。しかし、足場の良いところが少なく、安全に釣りを楽しめる場所が余りない。よって、この荒川においても、「水辺の有効利用」の観点から足場等の整備ができないか伺う。

都市整備部長　①ボートコースでの魚釣りについては、釣り人と水面利用者とのトラブルや、残された糸や針などによる事故。また、有料の施設であることから、現在は釣りが禁止されている。しかし、利用ルールの明確化と関係者の理解を前提として、議員が提案の内容について、関係機関に要望していきたい。

②「水辺の有効利用」として、市民の憩いのための釣りを目的とした足場の整備の件については、荒川の将来像を検討した「荒川将来像計画」が策定され、市民会議も設立されている。よって、この市民会議の中で議論していただけるよう、関係者に要請していきたい。

栗原　隆司　議員

財源確保のため企業転出抑制と本社誘致を

「市の付加価値を高め情報発信したい」

議員　企業誘致の一環として、本市を主たる営業地としている企業本社が本市以外に置く企業が相当数あるように見受けられるが、積極的に本社を移してもらえる働きかけをしてみてはどうか。

市民生活部長　安定的な財源確保を図る上で、税収の柱として企業の果たす役割は非常に大きなものがある。企業誘致は、自治体にとって重要な政策課題であると同時に、難しい課題であると思っている。

議員　企業のさまざまな営業戦略上、大変難しい問題であることは承知しているが、たとえ一社でも実現できれば、相乗効果を生み、懸念される企業転出の抑制や、新たな企業進出につながれば、大変価値のあることだと思うが、どうか。

市民生活部長　企業の本社が数多くあることは、市のステータスを高め、地域経済に与える波及効果が大きく、市にとっても大きなメリットがあると考え、今後は企業への各種支援制度を整備し、市の付加価値を高め、熱心に取り組んでいるとの情報発信をすることが肝要であると思っている。

前期全納制度の創設を

議員　国保税を除く市税の前期全納制度を創設し、協力してもらえる方には優遇を図り、それを原資に資金運用を積極的に図ってみてはどうか。

市民生活部長　趣旨は理解できるが、特別徴収納税者との公平性や低金利の現状にあることを勘案すると、全納制度の実施は難しい状況と考える。

▲市の付加価値をいかに高めるかが課題です

神谷　雄三　議員

公園施設を後退させ 歩道拡幅に充てよ

「面積や周辺交通量を見て取り組む」

議員　①かねてより公共施設の周囲はセットバック（敷地後退）して、歩道部分に充て、安心して歩ける幅の歩道とするよう提案してきた。これで実現したのが市役所西側、こどもの国の西側、公園で言えば上前公園西側などである。現在補修中の公園は、セットバックが実行に移されておらず残念だ。今後、公園を改修する際はセットバックして、周囲の歩道拡幅につなげてほしい。

②公園の入口部分が一部で縁石の切り下げがされておらず、バリアフリーでない所が見受けられる。自転車止めが窮屈で、〝人止め〟になっているので、改修してほしい。

都市整備部長　①これまでセットバックや道路脇をオープンスペースにした公園は11にのぼる。実施しているのは、ある程度の面積があり、周辺の交通量を考慮して進めている。今後も面積や周辺条件を考え、積極的に取り組んでいく。

②公園改修は、段差解消や水飲み場の改修等、整備方針を決め進めている。段差解消は一公園一ヵ所以上が方針であるが、改修済みと判断した公園も利用状況を見ながら必要に応じ実施していきたい。

▲ セットバックにより安全性が向上した上前公園

職員定員の考え方

議員　定員について総務省が求める以上の削減を行っているが、権限が市に委譲されるなどで仕事は増えている。職員減は、非常勤職員やパートなどで補われている。これらの人件費は増大している。一律にむやみに減らすことは、議会事務局の職員数も含めて、よく考えてもらいたい。

総務部長　業務の見直しと職員の資質向上を図りながら、市民サービスの質も維持していきたい。

一般質問

傍聴席へどうぞ

本会議 … 最上階で市政の動きを実感！

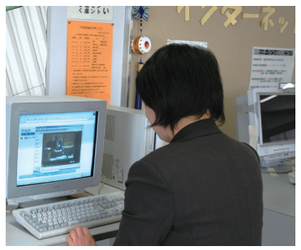
議会の傍聴は、生で市政の動きを知る絶好の機会です。ぜひ一度、議場に足を運んでみてください。

議場には、一般傍聴席５３席（車いす席２席含む）が設けられています。市役所８階の傍聴席入口で受付簿に住所・氏名などを記入すれば、だれでも傍聴ができます。

委員会 … 白熱した議論を間近で！

「総務、文教・建設、健康福祉、市民生活」の４常任委員会、「交通環境対策、指定管理者制度」の２特別委員会を公開しています。

各委員会とも５席を用意して、お待ちしています。



◀ 教育センターなどの公共施設のパソコンから議会中継を見ることができます。

詳しくは、議会事務局調査担当（048-441-1800 内線 543）へお気軽にお問い合わせください。

ライブ中継をご覧ください

…… 議会の動きを自宅のパソコンから！

本会議のライブ中継をしています。戸田市のホームページから、本会議日を確認のうえ、一度アクセスしてみてください。アドレスは、http://www.city.toda.saitama.jp/9/8548.html です。

また、市内の公共施設に設置している市民端末パソコンからもライブ中継を見ることができますので、ぜひ利用してください。

会議録をご覧ください

…… 見逃した方、再確認したい方は、ぜひ会議録を！

本会議の発言内容をすべて記載した会議録は、市内の図書館本館・分館をはじめ、市役所の市政情報室、議会図書室などに配置しています。

パソコンから会議録を閲覧したり、知りたい内容を検索することができます。戸田市ホームページからアクセスしてください。

アドレスは、http://www002.city.toda.saitama.jp:10080/voices/　です。

平成20年2月臨時会

常任委員等の任期満了に伴う臨時議会は、2月6日・7日の2日間の会期で開催されました。

本臨時会では、正副議長の選挙を初め、常任委員会、議会運営委員会委員の選任、競艇組合議会及び衛生センター組合議会議員の選挙、農業委員推薦などを行うとともに、市長提出議案4件（条例改正1、補正予算2、監査委員選任1件）を可決・同意し、すべての案件を議了して閉会しました。

なお、正副議長の選挙では、議長に奥田実議員（公明党6期）、副議長に平野進議員（平成会2期）を選出しました。

提出議案と常任委員会等の役職は下記のとおりです。

【可決した議案等】

◎戸田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……国の給与改定に準拠し、初任給及び勤勉手当等を改正するものです。

◎平成19年度一般会計補正予算……病児一時預かり保育室の整備事業費の新規計上のほか、寄附に伴い、小中学校の楽器・学校図書の購入費を増額するものです。

◎平成19年度介護保険特別会計補正予算……制度変更に伴い、保険料の激変緩和措置を継続するための改修を含む介護保険事務処理システム改修業務に係る経費等を計上するものです。

◎戸田市監査委員の選任について……議会選出の監査委員に高橋秀樹議員を選任するものです。

正副議長就任あいさつ

議長　奥田　実

この度、議長という大任に選任をいただきました。誠に光栄であると同時に、責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

議会としましては、市民福祉の向上を目指して、市民の皆様の声を的確に市政に反映させるとともに、より開かれた議会に、また、先進的な議会を目指して努力していきますので、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

副議長　平野　進

今回、副議長の要職に就かせていただくことになりました。

もとより微力ではありますが、議長を補佐し、市政のさらなる進展のために、円滑な議会運営に努めてまいりたいと考えておりますので、皆さまの一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

議会の役職が改選になりました

○議長　奥田　実　　○副議長　平野　進　　○監査委員　高橋　秀樹

名称		委員名（◎委員長　○副委員長）				
常任委員会	総務	◎遠藤　英樹 栗原　隆司	○三浦　芳一 石井　民雄	斎藤　直子	望月　久晴	奥田　実
	文教・建設	◎手塚　静枝 高橋　秀樹	○榎本　守明 伊東　秀浩	花井　伸子	中名生　隆	平野　進
	健康福祉	◎細井　幸雄 山崎　雅俊	○浅井　隆夫	岡嵜　郁子	馬場栄一郎	神谷　雄三
	市民生活	◎熊木　照明 秋元　良夫	○菅原　文仁	鈴木　麗子	召田　厚	本田　哲
議会運営委員会		◎山崎　雅俊 神谷　雄三	○熊木　照明 伊東　秀浩	馬場栄一郎 秋元　良夫	中名生　隆 栗原　隆司	望月　久晴
特別委員会	指定管理者制度	◎中名生　隆 召田　厚 浅井　隆夫	○伊東　秀浩 榎本　守明 望月　久晴	鈴木　麗子 花井　伸子 高橋　秀樹	菅原　文仁 手塚　静枝	遠藤　英樹 平野　進
	交通環境対策	◎石井　民雄 斎藤　直子 秋元　良夫	○細井　幸雄 熊木　照明 栗原　隆司	三浦　芳一 本田　哲	岡嵜　郁子 神谷　雄三	馬場栄一郎 山崎　雅俊
	議会改革	◎神谷　雄三 高橋　秀樹	○伊東　秀浩 山崎　雅俊	遠藤　英樹 栗原　隆司	手塚　静枝 石井　民雄	望月　久晴
戸田競艇組合議会		遠藤　英樹 細井　幸雄 伊東　秀浩	召田　厚 本田　哲 秋元　良夫	榎本　守明 望月　久晴 栗原　隆司	手塚　静枝 高橋　秀樹 石井　民雄	中名生　隆 神谷　雄三
蕨戸田衛生センター組合議会		三浦　芳一 斎藤　直子	鈴木　麗子 平野　進	菅原　文仁 浅井　隆夫	榎本　守明 熊木　照明	岡嵜　郁子 山崎　雅俊
農業委員会		奥田　実	秋元　良夫			

特集！ 議会や議員はどんなことをしているの？

平成12年4月の地方分権一括法の施行により、地方自治体の自主性・自律性が拡大されてきていますが、戸田市議会としてどのような対応をしているのか、また、普段、議会・議員はどのような活動をしているのか、よくわからないという声を聞くこともありますので、みなさんに議会や議員の活動状況について知っていただきたいと思い、今号では特集を組んでみました。

進展する地方分権

地方分権が推進するに伴い、事務・権限移譲の一層の推進が図られ、地方公共団体を取り巻く環境の変化に、的確かつ柔軟に対応することが求められています。

同時に、市の責任分野の拡大に伴い、住民自治に根差した地方分権の進展を図る上で、地方議会のあり方も問われているところであります。

議会の役割とは

議会の役割には、多様な民意の反映やさまざまな利害の調整、住民の意見の集約などがあり、議会の構成や運営において、議会の意思と住民の意思が離れないような努力が従来にも増して必要とされています。

また、議会は、市の議事機関としての機能や、執行機関のチェックを行う監視機関としての機能を担っていますが、地方分権の推進に伴い、市の役割が拡大し、また住民への説明責任を果たすことがますます重要となっていることから、これらの機能を充実・強化していかなければなりません。

議会・議員の活動は

●本会議、委員会では

議会の会議には定例会と臨時会があります。定例会は3月、6月、9月、12月の年4回、それぞれ約1カ月間の会期で必ず開かれ、条例や予算などの議案や請願などを審議し、可否を決めたり、議案とは別に、市政全般に対する一般質問などを行っています。一方、臨時会は必要に応じて開かれるもので、概ね年1回、議案審議や各委員会のメンバーや各種役職の交代などを行っています。

これらの議案などの可否を決めるため、委員会で議案を詳しく審査します。戸田市議会では総務委員会、文教・建設委員会、健康福祉委員会、市民生活委員会の4つの常任委員会で、集中的、専門的に審査しています。

●閉会中は

議会がないとき（閉会中）に、議員は何をしているのかわからないという声を耳にすることがあります。しかしながら、閉会中でも委員会が開かれたり、議員はおのおの地域に戻って、市民の皆さんのご意見を聴取したり、相談に乗ったり、町会行事に参加したりと、暦に関係なく、市民の福祉向上のために活動しています。

また、政務調査費を使っての調査研究活動や、市の財政に寄与する戸田競艇組合や、日常生活から排出されるごみを適正に処理し、清潔で快適な市民生活を営めるよう蕨戸田衛生センター組合の議員としても活動しています。

議員定数

近年、各地の議会では議員定数を減らしている傾向にあります。議員定数は、地方自治法で、人口10万人以上20万人未満の市は、議員数は34人を超えない範囲で定めることになっておりますが、本市は条例で27人と定めて、その減少率は21%であります。

議会改革特別委員会では、議員定数の見直しについて現在協議しているところでありまして、

1. 二元代表制からの観点
2. 進展している地方分権からの観点
3. 議員の役割、あり方からの観点
4. 議会・議員活動の現状からの観点
5. 県内市議会との比較からの観点
6. 類似団体との比較から

の観点の6つの観点をもとに、さまざまな角度から取り組んでいるところであります。

▲改革への熱い議論が続く（議会改革特別委員会）

これまでの議会改革の取り組み

戸田市議会としましても、地方分権時代に対応するため、平成15年2月に議会改革特別委員会を設置して、現在に至るまでさまざまな改革に取り組んでまいりました。具体的な取り組みは下記のとおりです。

なお、これら以外にも種々検討を重ね、結論を導き出してきているところですが、近年では新聞や専門誌などにも紹介され、他の市議会から、本市の議会改革について視察に来ることが多くなってきているところであります。

最後に

今後ますます地方分権が推進され、地方自治体は一層、自分たちで決め、自分たちの責任で自治体運営をしていかなければならなくなると思われます。

議会としましても、市民の代表として、市民の皆さんのご意見や要望などをしっかりと受け止め、執行機関を監視し、建設的な政策提言などによって、引き続き市政の発展に貢献していきたいと思います。

議会改革の取り組み

① 市民に開かれた議会として

- 議場でのやり取りをわかりやすく、白熱した論戦となるように、一般質問の方式を総ざらい質問・答弁から一問一答方式に改正。
- 議会（本会議）の様子を自宅などから見られるように、インターネットでのライブ配信。
- 政務調査費の透明性を高めるために、使途基準等に関する細則を定めたり、収支報告の際には領収書の原本の添付を義務付けるなどの2度にわたる政務調査費の見直し。
- 二元代表制の趣旨にかんがみ、法令で規定された機関や法令などで議員の就任が規定されてはいないが同類とみなした機関、議会が引き続き参画する必要があると判断した附属機関を除いての引き揚げ。

② 委員会体制のあり方として

- 委員会の全面公開（一部の委員会を除く）。
- 特定目的・期間限定の趣旨に沿って、常設的だった特別委員会を廃止し、「こどもの国再整備等に係る複合施設特別委員会」（現在廃止）、「指定管理者制度特別委員会」、「交通環境対策特別委員会」の設置。

③ 議員の服務として

- 倫理や議会・議員のあり方など議員みずから律する「戸田市議会議員信条」の制定。
- ペナルティとして①長期間議員活動ができない場合の議員報酬及び期末手当の減額、②刑事事件の被疑者、被告人などで逮捕、勾留等の処分を受けた場合の議員報酬及び期末手当の停止、③有罪が確定したときは議員報酬及び期末手当の不支給などを定める「戸田市議会議員の報酬等の特例に関する条例」の制定。

議員の報酬はいくらなの？

みなさんも関心のある議員報酬や議員年金制度について、参考までにお知らせいたします。

Q１：議員報酬は毎月いくらもらっているのか。
A１：戸田市の場合、条例に基づき一般議員は、月額45万円です。ちなみに、議員共済掛金等を差し引いた4月分の議員報酬の振込平均額は、約32万8,000円でした。さらに、ここから住民税、国民健康保険税、国民年金保険料などを支払うことになります。

Q２：議員共済（議員年金）掛け金は毎月いくら払っているのか。
A２：報酬の16.0%の負担率で、月額72,000円です。なお、サラリーマンの自己負担率は7.498%です。

Q３：議員年金はいくらもらえるのか。
A３：議員年金は、法による強制加入の拠出型で、12年（3期）議員を務めて初めて受給できます。12年ですと年間129万6,000円（月額10万8,000円）、16年ですと139万9,680円と期数（年数）によって加算され、議員退職後、原則65歳から支給されます。

Q４：議員は「恩給」がもらえるのか。
A４：もらえません。「恩給」とは、戦没者遺族や、退職軍人及びその遺族などの生活の支えとなる国家補償的な性格を有するものであり、地方議員の共済制度による年金は、恩給とはまったく違うものです。
なお、議員に退職金はありません。

議会日誌

～議会改革への取り組みなどに本市への視察が増加しています～

1月

◎ 15 日　一区議長会議員研修会
◎ 16 日　議会だより編集委員会
◎ 17 日　県南都市問題協議会地方分権研究部会視察
　　県南都市問題協議会交通問題研究部会視察
　　県南都市問題協議会環境問題研究部会視察
◎ 18 日　議会改革特別委員会／戸田市議会議員研修会
◎ 21 日　議会だより編集委員会／
　　東京都あきる野市議会行政視察来庁
◎ 28 日　山口県宇部市議会行政視察来庁
◎ 30 日　議会運営委員会
◎ 31 日　茨城県桜川市議会行政視察来庁

2月

◎ 6 日　2月臨時会　本会議（議案上程・審査）
◎ 7 日　2月臨時会　本会議（各種選挙）／
　　県議会特別委員会行政視察
◎ 8 日　県市議会議長会正副議長研修会
◎ 12 日　戸田競艇組合議会運営委員会／
　　大阪府門真市議会行政視察来庁
◎ 13 日　蕨戸田衛生センター組合議会運営委員会
◎ 14 日　狭山市議会行政視察来庁／
　　川越市議会行政視察来庁
◎ 15 日　県南都市問題協議会正副会長会議
◎ 18 日　戸田競艇組合議会／
　　群馬県大泉町議会行政視察来庁
◎ 19 日　議会運営委員会
◎ 20 日　蕨戸田衛生センター組合議会／
　　高知県安芸市議会行政視察来庁
◎ 21 日　議会改革特別委員会
◎ 22 日　県南都市問題協議会役員会／
　　川口市議会議員行政視察来庁
◎ 25 日　3月定例会　本会議
　　（開会、議案上程、総括説明、詳細説明）
◎ 26 日　本会議（詳細説明）／議会運営委員会
◎ 27 日　戸田競艇組合議会
◎ 28 日　蕨戸田衛生センター組合議会

3月

◎ 4 日　本会議（総括質問）／議会だより編集委員会
◎ 5 日　本会議（質疑・請願の提出・委員会付託）
◎ 6 日　本会議（一般質問）
◎ 7 日　本会議（一般質問）
◎ 10 日　本会議（一般質問）
◎ 11 日　常任委員会（総務、文教・建設、健康福祉、
　　市民生活）（～ 13 日）
◎ 14 日　常任委員会（文教・建設）
◎ 17 日　特別委員会（交通環境対策、指定管理者制度、
　　議会改革）／議会運営委員会
◎ 21 日　本会議（委員長報告・質疑・討論・採決、閉会）
◎ 25 日　入間市議会行政視察来庁
◎ 27 日　石川県白山市議会議員行政視察来庁

議員研修会報告

多重債務は“破綻”から“再生”へ

毎年、全議員を対象に、政治や経済など各界から講師を招いて、見識を広げるために研修会を開催しています。

平成19年度は1月18日（金）に事業再生実務家組織理事の清水洋（ひろし）先生をお迎えし、「多重債務と住宅ローンの解消法」をテーマに開催いたしました。

講演では、多重債務により、「金を返さない」のは違法ですが、「金を返せない」のは違法ではありません。今までは、破綻という道を選ばざるを得なかったが、これからは再生という道に変化していく時代と訴えておりました。

また、政府も多重債務問題を解消すべく、平成19年4月に多重債務問題改善プログラムを決定し、自治体による取り組みが重要になっており、本市では、平成19年8月に戸田市多重債務問題対策連絡会を発足し、防犯くらし交通課が窓口となって取り組んでおります。

議員の寄附禁止のルール

贈らない　議員がイベント等で寄附をすること。

求めない　有権者や町会等各種団体が議員に寄附を要求すること。

受取らない　議員が寄附を持ってきても有権者や町会等各種団体は受け取らないこと。

市民の皆様に議会の一般質問等の概要をもっと早くお知らせすることを目的に、議会だよりweb〝かわら版〟のインターネット発信を本年6月定例会から始めます。

議会がお送りしている各種情報のうち、会議録及び議会だよりの発行は、議会が終了してから1ヵ月半から2ヵ月の期間を要していますが、web〝かわら版〟は議会終了後10日以内を目標に発信していきます。

掲載する内容は、議会だよりの〝そこがききたい 一般質問〟をベースに、紙面ではページ数の制約などから掲載できない内容も検討をしています。

ご覧になる方法は、戸田市議会ホームページの 議会だより web〝かわら版〟のアイコンから利用してください。また、同様の内容を簡易な紙刷りにした〝かわら版〟を6階 議会事務局横の「議会情報コーナー」などに置いていきますので、併せてご利用ください。

かわら版　検索

議会だより web“かわら版”

……議会終了後 10 日以内の発信を目ざして

議会だよりアンケートにご協力ください

★議会だよりは35歳……

〝とだ　議会だより〟は、本号で155号となります。

昭和48年に誕生し、ことしの3月1日で35歳を迎えたわけですが、ここまでの道のりは決して平たんではなく、戸田市と市議会の発展と歩調をあわせて、歩みをとどめることなく成長することができましたのは、ひとえに市民の皆様の温かいご理解とご叱正があったからこそであります。

★紙面づくりの主体は職員から議員に……

現在の〝とだ　議会だより〟の作成方法は、正副議長のほか、各会派から選ばれた議会だより編集委員8人と議会事務局職員が連携して編集作業に当たっております。

そのほか、〝言論の府〟としての議会を象徴する〝一般質問　そこがききたい〟については、質問議員がみずから原稿作成に当たり、写真構成なども提案する形で作業が進められています。

★わかりやすい紙面を目指して……

日々、多様化する情報化社会の中で、〝とだ　議会だより〟は、今の戸田市議会を市民の皆様にお届けする不変のメディアとして、戸田市議会ホームページとともに重要な情報発信メディアと位置づけております。

編集委員会は、一号の発行につき3回開催しており、紙面の全体構成から、見出し、レイアウト、写真のキャプションの細部に至るまで意見を交わして、〝いつもが創刊〟の気持ちを忘れずに、より親しみやすく、わかりやすい紙面を目指しております。

つきましては、より充実した内容へと発展させるため、皆様方にアンケートのご協力をお願いすることにいたしました。このアンケート結果をこれからの紙面に反映させることにより、市政や市議会への関心を深めていただけたらと考えています。

★FAX、メールでもOK……

アンケートは5点の内容に絞りました。

ハガキで返送される場合は、当てはまる項目に○印を付けて、住所・氏名等を記載（個人情報については、アンケートの集計上の参考として使用するもので、他の目的で使用はいたしません。）のうえ、点線で切り取り、そのままポストに入れてください。

はがきの締切日は、平成20年6月13日消印まで有効とします。

FAXで回答される場合は、切り離して、ハガキの表と裏の両面を送信してください。

FAXとメールの送信先は次のとおりです。

送付締切日は、平成20年6月13日　午後5時までといたします。

FAX　048－433－2212

メール　gikaijimu@city.toda.saitama.jp

なお、戸田市議会ホームページのトップページの下段からメール送信されると便利です。その場合は、質問項目と回答を番号で記入（例　1－②、2－③、④、⑥、⑦……）し、住所・氏名等を記載のうえ送信してください。

また、同様のアンケートはがきのPDFファイルを戸田市議会ホームページにも掲載していますので、○印を付して、添付ファイルとして送信していただいても結構です。

※該当するものに○印をつけてください

1　議会だよりを読んだことがありますか。
　①　必ず読む　②　ときどき読む　③　初めて読む

2　紙面で興味があるものは。（いくつでも結構です）
　①　議案の概要　②　討論の概要　③　議員提出議案
　④　一般会計予算の主な事業　⑤　委員会審査の概要
　⑥　総括質問　⑦　そこがききたい“一般質問”
　⑧　臨時会の概要と役職一覧
　⑨　特集「議員はどんな仕事をしているの」
　⑩　議会日誌　⑪　研修報告　⑫　アンケート
　⑬　ほっとコーナー
　⑭　その他（　　）

3　全体の文字の大きさはいかがですか。
　①　良い　②　普通　③　小さい

4　文章のわかりやすさはいかがですか。
　①　良い　②　普通　③　わかりにくい

5　写真の内容は適当ですか。
　①　良い　②　普通　③　悪い

6　紙面でお気づきの点を自由に記入してください。

御協力ありがとうございました。

6月 定例会の予定

6月3日	本会議	開会、議案上程、総括説明、詳細説明
6月9日	本会議	質疑、請願の提出、委員会付託
6月10日	本会議	一般質問
6月11日	本会議	一般質問
6月12日	本会議	一般質問
6月13日	委員会	常任委員会
6月16日	委員会	特別委員会
2016年6月21日	本会議	委員長報告並びに質疑、討論・採決、閉会

※日程は変更になる場合があります。臨時会・定例会の一週間前に議会運営委員会で内定しますので、議会事務局にお問い合わせください。また、議会ホームページでもお知らせしていますので、ご覧ください。

議会事務局☎441・1800
（内線523・524・543）

ほっとコーナー

本号から編集委員が交代しました。

このコーナーが衣替えして4回目となりますが、一層、議会を身近に感じてもらえるよう、皆さんへのメッセージを発信していきますので、変わらぬご愛読と、ご叱正をお待ちしています。

委員　神谷　雄三
委員　手塚　静枝
委員　山崎　雅俊
委員長　伊東　秀浩
委員　召田　厚
副委員長　岡嵜　郁子
委員　斎藤　直子
委員　花井　伸子

花や緑に囲まれた美しい景観が年々増え、思わず写真に撮りたくなるのは、それだけ自慢のまちになってきたのかなと感じます。

その分、ゴミが落ちていたり、景観をじゃまする建物ができたりすると悲しくなってしまいます。（S）

メタボ、メタボと騒がしい今日このごろ。何となく肩身の狭い思いをしている。

本来、我々モンゴロイドは「こぶとり」が当たり前？なのに……。

今年度からスタートしたメタボ検診の話題に耳が痛い。（山）

いつも枯らせてしまうシクラメン。今年は外に出したら、寒いベランダでむしろ元気に生き延び、別のプランターでは、植えた覚えのないサクラソウが繁茂し、花も満開に。

己の〝ずぼらさ〟と自然の偉大さを感じる春です。（郁）

2月から編集委員会のメンバーが代わり、初仕事。

今回は、前メンバーの企画をもとに紙面づくりをし、良い内容のものができあがったと思う。

新メンバーも、経験豊富な人が多く、選挙まで、あと3回。わかりやすく、親しまれるものをつくっていきたい。

皆さんに感謝、感謝。（ー）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）

キ リ ト リ

はがき

料金受取人払はがき

蕨支店承認
1295

差出有効期限
平成20年
6月13日まで

335-8755

戸田市上戸田1－18－1
戸田市議会事務局

戸田市議会議長　宛

さしつかえなければ、下記にもご記入ください。

住所	〒　－ TEL　（　　）		
氏名		年齢	性別 男・女
問合せ	戸田市議会事務局　調査担当 Tel 048-441-1800　内線543 Fax 048-433-2212 Mail gikaijimu@city.toda.saitama.jp		

本紙は環境に配慮し、再生紙と、「大豆油インキ」を使用しています。